



平成28年12月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

平成28年8月10日

上場会社名 株式会社ジーエヌアイグループ

上場取引所 東

コード番号 2160 URL <http://www.gnipharma.com>

代表者 (役職名) 取締役代表執行役社長兼CEO (氏名) イン・ルオ

問合せ先責任者 (役職名) 取締役代表執行役CFO (氏名) トーマス・イーストリング TEL 03-6214-3600

四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	544	11.6	△228	-	△570	-	△645	-	△623	-	△707	-
27年12月期第2四半期	487	-	△241	-	△285	-	△285	-	△284	-	△275	-

	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益	
	円	銭	円	銭
28年12月期第2四半期	△5.	48	△5.	39
27年12月期第2四半期	△2.	51	△2.	46

(2) 連結財政状態

	資産合計		資本合計		親会社の所有者に帰属する持分		親会社所有者帰属持分比率	
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	%	%	
28年12月期第2四半期	5,482	4,358	3,331	60.8				
27年12月期	6,385	5,127	3,835	60.1				

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
27年12月期	-	-	-	0.00	0.00	0.00
28年12月期	-	-	-	-	-	-
28年12月期（予想）	-	-	-	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	1,525	50.1	△410	-	△455	-	△456	-	△499	-	△4.	40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期2Q	113,705,831株	27年12月期	113,673,831株
② 期末自己株式数	28年12月期2Q	3,189株	27年12月期	3,189株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期2Q	113,684,884株	27年12月期2Q	113,410,918株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であります。しかしながら、この四半期決算短信の開示時点において、要約四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料6ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は、平成28年8月18日に、アナリスト向けの四半期説明会を開催する予定です。その説明内容については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	4
(3) 研究開発活動	5
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	6
3. 要約四半期連結財務諸表	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	8
要約四半期連結損益計算書	8
要約四半期連結包括利益計算書	9
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(事業セグメント)	13

1. 経営成績・財政状態に関する分析

会社概要

当社グループは、日本、中国及び米国を中心に、アジア及び世界で線維症関連治療薬の研究開発、製造及び販売事業を展開するグローバル製薬企業です。当社の主な収益源は、中国で上市した特発性肺線維症（IPF）治療薬であるアイスーリュイ〔中国語：艾思瑞®、英語：Etuary®（一般名：ビルフェニドン）〕の売上収益です。当社グループが保有する複数の開発パイプラインは、線維症の革新的な治療薬を中核とし、放射線性肺炎（RP）、糖尿病腎症（DN）、肝硬変・慢性肝不全急性化（ACLF）及び急性前骨髄球形白血病（APL）を含む治療薬に集中しています。当社は、主として中国において臨床試験を実施しておりますが、当連結会計年度中に米国市場での追加的な臨床試験プログラムを開始する予定です。

当第2四半期連結会計期間において、当社は、北京コンチネント薬業有限公司（北京コンチネント）持分の2%を他の出資者から追加取得し、重要な連結子会社である北京コンチネントの持分を53%保有するに至りました。また、当社の持分法適用関連会社であるIriSys, LLCが、中国の製薬会社とのビジネスチャンスを拡大すべく、上海に事業開発事務所を設立しました。

(1) 経営成績に関する分析

① 当第2四半期連結累計期間の経営成績

四半期連結経営成績概要

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
売上収益	487,601	544,242	56,640
売上総利益	358,966	458,927	99,960
営業利益（△損失）	△241,661	△228,953	12,707
四半期利益（△損失）	△285,981	△645,819	△359,838

売上収益及び売上総利益

当第2四半期連結累計期間において、売上収益及び売上総利益は、いずれも増加しました。当第2四半期連結累計期間の売上収益は、表示通貨である日本円ベースでは、前年同期比約11.6%増加の544,242千円となりました。一方、機能通貨である人民元ベースでは、前年同期比27.1%の増加となりました。これは、主に、当社の重要な医薬品であるアイスーリュイ及びその他の売上が増加したためです。売上総利益率は大幅な改善を示しており、当第2四半期連結累計期間における売上総利益は、前年同期比約27.8%増加の458,927千円となりました。

当第2四半期連結累計期間のアイスーリュイの売上収益は458百万円となり、日本円ベースの売上収益は前年同期比25.2%の増加となりました。一方、機能通貨である人民元ベースでは、前年同期比40.8%の増加となりました。また、当第2四半期連結会計期間（2016年4月～6月）のアイスーリュイの売上収益は、当第1四半期連結会計期間（2016年1月～3月）と比べ減少し、193百万円となりました。これは、売上の減少と円高の影響を受けたためです。

アイスーリュイ 売上収益推移（2015年7月～2016年6月）

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結会計期間	前第4四半期 連結会計期間	当第1四半期 連結会計期間	当第2四半期 連結会計期間
売上収益	190	231	265	193

当第2四半期連結累計期間には、中国ベスーン基金の患者助成プログラムを通して、アイスーリュイ生産量の約28%がIPF患者の方々へ配布されました。中国ベスーン基金運営委員会により運営される当プログラムは、治療を必要とする最大限の患者に新たな治療法を提供するという当社のコミットメントの一環であり、経済的に恵まれないIPF患者の方々へアイスーリュイを提供するものです。

中国外でのアイスーリュイの販売に関しては、2016年5月、当社グループのライセンス契約の相手先であるAFT Pharmaceuticals Limitedが、Fibroleve®（アイスーリュイを有効成分とする医薬品）としてマレーシアの規制当局に登録申請を行いました。

営業利益（損失）

当第2四半期連結累計期間の営業損失は、前年同期の241,661千円の損失と比べ、12,707千円改善し、228,953千円の損失となりました。営業利益の改善は、当社経営陣が、販売費及び一般管理費、研究開発費を厳格に管理する一方で、売上収益及び売上総利益を着実に増加させるよう注力した結果です。

販売費及び一般管理費、研究開発費の明細

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
販売費及び一般管理費	△473,294	△533,328	△60,033
人件費	△139,656	△167,427	△27,770
その他の支払手数料	△189,315	△211,551	△22,235
研究開発費	△124,630	△140,330	△15,699

当第2四半期連結累計期間の販売費及び一般管理費は、前年同期に比べ60,033千円増加し、533,328千円となりました。これは、主に、アイスーリュイの売上収益増加に比例して、人件費、手数料及びその他の販売関連費用が増加したためです。研究開発費の15,699千円の増加は、当社グループが継続的に進めている臨床試験であるF351の第2相臨床試験、アイスーリュイの適応症である放射線性肺炎（RP）を適応症とする第3相臨床試験前パイロット試験及びその他の前臨床試験等の研究開発活動によるものです。

四半期利益（損失）

当第2四半期連結累計期間の四半期損失は、前年同期の285,981千円の損失と比べ、359,838千円増加し、645,819千円の損失となりました。これは、主として、金融費用についてのご説明のとおり、当社グループが保有する金融資産と負債の評価替えにより生じた正味の為替差損299,042千円によるものです。

金融収益、金融費用及び持分法による投資利益

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	増減
金融収益	15,803	10,380	△5,422
金融費用	△9,278	△311,201	△301,922
持分法による投資利益（△損失）	△50,844	△40,452	10,391

金融収益

当第2四半期連結累計期間の金融収益は、前年同期の15,803千円と比べて、5,422千円減少し、10,380千円となりました。これは、主として、前年同期に比べ為替差益が減少し、この減少が、受取利息金額の増加と当社の連結子会社である上海ジェノミクス有限公司が受領した複数の補助金総額を相殺したためです。なお、これらの補助金は、画期的新薬となりうる創薬候補化合物の継続的な探索及び臨床開発活動を行っていることに、これを認め支援する目的で支給されたものです。

金融費用

当第2四半期連結累計期間の金融費用は、前年同期の9,278千円と比べて、301,922千円増加し、311,201千円となりました。この大幅な増加は、主として、円高により発生した現金支出を伴わない為替差損によるもので、長期資産及び負債の評価替えにより生じた正味の為替差損は、当第2四半期連結累計期間において299,042千円となりました。

持分法による投資利益（損失）

当第2四半期連結累計期間の持分法による投資損失は、前年同期の50,844千円と比べて、10,391千円改善し、40,452千円となりました。これは、当社の提携先である米国のIriSys, LLCの業績が改善したことによるものです。

円の為替レート変動が当社業績に与える影響について

前第2四半期連結累計期間と当第2四半期連結累計期間の為替レートの比較は、下表のとおりです。当社の中核となる製薬事業は人民元建てですが、米ドル建ての事業も一定の割合で存在します。このため、日本円の為替変動が当社グループの中核となる事業経営に与える影響は殆どありませんが、一方で、当第2四半期連結累計期間における財務報告ベースでは円高が影響を及ぼすこととなります。当第2四半期連結累計期間においては、前第2四半期連結累計期間の為替レートを適用した場合と比べ、売上収益は約66百万円の減収、四半期損失は約300百万円の増加となりました。

第2四半期連結累計期間における為替変動（前年同期比）

期中平均レート	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間	変動
円/米ドル	120.49円	113.05円	7.43円高 (6.2%)
円/中国元	19.36円	17.22円	2.14円高 (11.1%)

過去6カ月の変動 (期末レート)	2014年12月末/2015年6月末	2015年12月末/2016年6月末
円/米ドル	1.90円安	17.70円高
円/中国元	0.38円安	2.90円高

② 地域別セグメント情報

日本 - 当第2四半期連結累計期間の日本における売上収益は、前年同期と比べて5,199千円減少し、7,343千円となりました。セグメント損失は、前年同期と比べて9,027千円減少し、156,499千円となりました。

中国 - 当第2四半期連結累計期間の中国における売上収益は、前年同期と比べて60,693千円増加し、544,733千円となりました。セグメント損失は、前年同期と比べて19,983千円減少し、54,845千円となりました。

米国 - 当第2四半期連結累計期間の米国におけるセグメント損失は、前年同期の2,985千円に対し、18,485千円となりました。

(2) 財政状態に関する分析

連結財政状態

(単位：千円)

	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間	増減
資産合計	6,385,579	5,482,915	△902,663
負債合計	1,257,723	1,124,689	△133,034
資本合計	5,127,855	4,358,226	△769,629

資産合計

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて902,663千円減少し、5,482,915千円となりました。これは、主として、営業損失の計上による現金及び現金同等物の減少と非流動資産の減少によるものです。

負債合計

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて133,034千円減少し、1,124,689千円となりました。これは、借入金の減少によるものです。

資本合計

当第2四半期連結会計期間末における資本合計は、前連結会計年度末に比べて769,629千円減少し、4,358,226千円となりました。これは、主として、利益剰余金の減少によるものです。

連結キャッシュ・フロー

(単位：千円)

	前第2 四半期連結累計期間	当第2 四半期連結累計期間	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△323,586	△455,561	△131,975
投資活動によるキャッシュ・フロー	△967,244	147,818	1,115,063
財務活動によるキャッシュ・フロー	233,389	△11,060	△244,450

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2 四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローの支出は、前年同期の323,586千円と比べて131,975千円増加し、455,561千円となりました。主な支出は、税引前四半期損失570,227千円並びに営業債権及びその他の債権の増加によるキャッシュの減少122,957千円であります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2 四半期連結累計期間の投資活動によるキャッシュ・フローの収入は、前年同期の967,244千円の支出と比べて1,115,063千円増加し、147,818千円となりました。主な収入は、満期に伴う定期預金払戻収入の219,500千円であります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2 四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期の233,389千円の収入と比べて244,450千円減少し、11,060千円の支出となりました。主な支出は、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出72,755千円であります。

(3) 研究開発活動

■アイスーリュイ

放射線性肺炎 (RP)

当社グループは、アイスーリュイの追加適応症である放射線性肺炎 (RP) 治療薬の、第3 相臨床試験前パイロット試験を実施しております。これは、多回投与、多施設での試験を行うもので、当適応症の治験組み入れ基準が厳格であることから、2016年6月末現在の組み入れ患者総数は5人となっております。

糖尿病腎症 (DN)

当社グループは、アイスーリュイの3番目の適応症である、糖尿病腎症 (DN) 治療薬の治験許可 (IND) 申請を行いましたが、当申請については現在、中国国家食品薬品監督管理総局 (CFDA) が評価・検討を行っております。DNは、中国の糖尿病患者のうち、約5分の1が発症するとされる疾患です。DN治療薬は、既承認薬であるアイスーリュイの追加適応症であるため、承認取得後は、直接、第2相または第3相臨床試験から開始できる可能性があります。

結合組織疾患を伴う間質性肺疾患 (CTD-ILD)

アイスーリュイの4番目の追加適応症は、結合組織疾患を伴う間質性肺疾患 (CTD-ILD) です。CTD-ILDは、肺の炎症もしくは線維症、またはその両方を引き起こします。当社グループは、CTD-ILD治療薬についてのIND申請を2014年12月にCFDAに行いましたが、承認取得後は、直接、第2相または第3相臨床試験から開始できる可能性があります。

■F351 (肝線維症等治療薬)

F351は、当社グループのパイプラインの中でも重要な創薬候補化合物で、臨床開発活動を世界の主要医薬品市場で展開する当社戦略に必要な不可欠なものです。F351は、アイスーリュイの誘導体である新規創薬候補化合物です。内臓の繊維化に重要な役割を果たす肝星細胞の増殖及びTGF- β 伝達経路の両方の阻害剤で、当社の連結子会社である上海ジェノミクス有限公司における多様な動物試験において、肝線維症及び腎線維症に対して顕著な有効性を示しました。当社グループは中国、日本、豪州、カナダ、米国、欧州各国を含む主要な国でのF351の特許権を保有しております。

中国 - 当社グループは、中国において、F351の肝線維症治療薬としての第2相臨床試験を行っておりますが、これは、慢性B型肝炎ウイルス感染による肝線維症の治療におけるF351の安全性及び有効性を検証するも

ので、中国全土のクラスAAAの13の病院が参加し、240人の被験者に対して、無作為、二重盲検、プラセボ、多回投与、多施設での試験を行うものです。2016年6月末日現在、15の施設で、85人の被験者登録が行われています。

米国 - 2016年3月11日、当社は、肝線維症治療薬としてのF351（一般名：ヒドロニドン）の米国におけるIND申請を米国食品医薬局(FDA)に対して行いました。その後、2016年5月3日にはFDAから通知を受領し、既に提出済みの中国GLP基準に準拠した毒性試験結果を補足するものとして、米国GLP基準に準拠した最低8日間の毒性試験結果の提出を要請されました。当社は、同試験を完了した後に、IND申請を補完する補足資料をFDAに提出することとなります。

■タミバロテン（急性前骨髄球性白血病（APL）治療薬）

タミバロテンは、急性前骨髄球性白血病（APL）治療薬です。APLは、急性骨髄白血病の一種で、前骨髄球が「がん化」する白血病です。タミバロテンは、白血病が有するPML/RAR α という異常分子に特異的に働く分子標的薬で、抗がん剤治療とは異なり、白血病細胞を破壊するのではなく、より成熟した細胞に分化させることで治療効果を発揮します。また、タミバロテンは、オールトランス型レチノイン酸（ATRA）耐性を獲得し、トレチノインに反応しなくなったAPL症例に対しても効果があることが期待されております。

東光薬品工業株式会社と当社子会社のGNI-EPS（HONG KONG）HOLDINGS LIMITEDは、2015年10月に、アムノレイク[®]錠2mg（一般名：タミバロテン）を、輸入薬として、CFDAに登録申請を行いました。輸入薬登録は、CFDAによる評価・検討の進捗にもよりますが、申請から1～2年ほどで承認される見込みです。

■F573（急性肝不全・慢性肝不全急性化（ACLF）治療薬）

急性肝不全・慢性肝不全急性化（ACLF）治療薬F573は、アिसーリュイ及びF351に続く3つ目の新薬候補化合物で、当社グループは、2011年7月にCFDAにIND申請書を提出しております。F573は、ジペプチド化合物で、細胞死や炎症反応をもたらす酵素の一種であるカスパーゼを阻害する可能性を持つものです。大規模な肝細胞死は、多くの場合、B型肝炎ウイルス、C型肝炎ウイルス、アルコール性肝硬変に起因する重症肝炎と関連して発生しますが、中国では、B型肝炎ウイルスに起因する肝疾患の患者が、世界的に見ても多く存在しています。この治療法としては、現存する抗ウイルス剤による治療以外の選択肢は限られており、最終手段である肝臓移植は、大変高額な治療であります。

F573は、米国企業EpiCept Corporation（現Immune Pharmaceuticals, Inc.）からライセンスの供与を受けたものであり、当社グループは、アジアにおいては、中国、日本、豪州及びニュージーランド他の権利を保有し、更には、その他の地域の権利も取得できる優先権も保有しております。

■その他

以上のパイプラインの他、2015年12月には、当社の連結子会社である北京コンチネントが、酪酸ヒドロコルチゾンの温度により制御されるフォーム製剤（外用薬）のIND申請書を北京市食品薬品监督管理局に提出し、受理されております。当フォーム製剤は、湿疹、乾癬、接触性皮膚炎等の外用薬として、北京コンチネントとGENEPHARM Biotech Corp.（台湾企業）により共同開発されたものです。承認されれば、これは中国で初めての温度により制御されるフォーム製剤となります。

（4）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2016年2月15日の「平成27年12月期 決算短信〔IFRS〕（連結）」で公表した予想から変更ありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2015年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2016年6月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	743,407	606,553
のれん	150,226	126,796
その他の無形資産	276,122	200,537
持分法で会計処理されている投資	725,648	672,143
繰延税金資産	18,348	-
その他の金融資産	65,971	61,939
その他の非流動資産	389,996	323,879
非流動資産 合計	2,369,720	1,991,850
流動資産		
棚卸資産	175,068	190,794
営業債権及びその他の債権	64,525	171,917
その他の金融資産	712,392	463,641
その他の流動資産	41,151	31,295
現金及び現金同等物	3,022,720	2,633,415
流動資産 合計	4,015,858	3,491,064
資産 合計	6,385,579	5,482,915
負債及び資本		
非流動負債		
借入金	469,043	452,064
その他の非流動負債	171,741	156,843
非流動負債 合計	640,784	608,907
流動負債		
営業債務及びその他の債務	108,310	101,806
借入金	209,174	111,630
未払法人所得税	17,329	62,213
その他の流動負債	282,124	240,130
流動負債 合計	616,938	515,781
負債 合計	1,257,723	1,124,689
資本		
資本金	5,828,953	5,829,968
資本剰余金	5,788,953	5,725,768
自己株式	△155	△155
利益剰余金	△7,837,526	△8,460,614
その他の資本の構成要素	55,149	236,359
親会社の所有者に帰属する部分合計	3,835,374	3,331,327
非支配持分	1,292,481	1,026,898
資本 合計	5,127,855	4,358,226
資本及び負債の合計	6,385,579	5,482,915

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
売上収益	487,601	544,242
売上原価	△128,635	△85,315
売上総利益	358,966	458,927
販売費及び一般管理費	△473,294	△533,328
研究開発費	△124,630	△140,330
その他の収益	7,591	7,755
その他の費用	△10,294	△21,978
営業利益(△損失)	△241,661	△228,953
金融収益	15,803	10,380
金融費用	△9,278	△311,201
持分法による投資利益(△損失)	△50,844	△40,452
税引前四半期利益(△損失)	△285,981	△570,227
法人所得税費用	-	△75,592
四半期利益(△損失)	△285,981	△645,819
四半期利益(△損失)の帰属		
親会社の所有者	△284,513	△623,087
非支配持分	△1,467	△22,732
1株当たり四半期利益(△損失)(円)		
基本的1株当たり四半期利益(△損失)	△2.51	△5.48
希薄化後1株当たり四半期利益(△損失)	△2.46	△5.39

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
四半期利益(△損失)	△285,981	△645,819
その他の包括利益		
純損益にその後に振替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	10,918	△61,651
その他の包括利益合計	10,918	△61,651
四半期包括利益合計	△275,062	△707,471
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	△299,989	△450,054
非支配持分	24,927	△257,417

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2015年1月1日残高	5,805,854	5,765,854	△155	△7,214,376	83,882	△2,742	81,140
四半期利益(△損失)	-	-	-	△284,513	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	△15,475	△15,475
四半期包括利益合計	-	-	-	△284,513	-	△15,475	△15,475
新株の発行	22,152	22,152	-	-	△16,105	-	△16,105
株式報酬取引	-	-	-	-	8,760	-	8,760
所有者との取引額合計	22,152	22,152	-	-	△7,345	-	△7,345
2015年6月30日残高	5,828,006	5,788,006	△155	△7,498,890	76,537	△18,217	58,319

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2015年1月1日残高	4,438,316	1,360,138	5,798,454
四半期利益(△損失)	△284,513	△1,467	△285,981
その他の包括利益	△15,475	26,394	10,918
四半期包括利益合計	△299,989	24,927	△275,062
新株の発行	28,200	-	28,200
株式報酬取引	8,760	-	8,760
所有者との取引額合計	36,960	-	36,960
2015年6月30日残高	4,175,286	1,385,065	5,560,352

株式会社ジーエヌアイグループ(2160) 平成28年12月期第2四半期決算短信

当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:千円)

	親会社の所有者に帰属する部分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の資本の構成要素		
					新株予約権	在外営業活動体の換算差額	合計
2016年1月1日残高	5,828,953	5,788,953	△155	△7,837,526	85,668	△30,519	55,149
四半期利益(△損失)	-	-	-	△623,087	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	-	173,033	173,033
四半期包括利益合計	-	-	-	△623,087	-	173,033	173,033
非支配持分の取得	-	△64,200	-	-	-	389	389
新株の発行	1,015	1,015	-	-	△972	-	△972
株式報酬取引	-	-	-	-	8,760	-	8,760
所有者との取引額合計	1,015	△63,185	-	-	7,787	389	8,177
2016年6月30日残高	5,829,968	5,725,768	△155	△8,460,614	93,456	142,903	236,359

	親会社の所有者に帰属する部分		
	合計	非支配持分	資本合計
2016年1月1日残高	3,835,374	1,292,481	5,127,855
四半期利益(△損失)	△623,087	△22,732	△645,819
その他の包括利益	173,033	△234,684	△61,651
四半期包括利益合計	△450,054	△257,417	△707,471
非支配持分の取得	△63,810	△8,164	△71,975
新株の発行	1,058	-	1,058
株式報酬取引	8,760	-	8,760
所有者との取引額合計	△53,992	△8,164	△62,157
2016年6月30日残高	3,331,327	1,026,898	4,358,226

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益 (△損失)	△285,981	△570,227
減価償却費	27,983	25,381
株式報酬費用	8,760	8,760
営業債権及びその他の債権の増減額	△95,888	△122,957
営業債務及びその他の債務の増減額	△9,017	8,774
棚卸資産の増減	4,722	△48,345
金融収益及び金融費用	△6,525	183,692
持分法による投資損失	50,844	40,452
その他	△13,039	30,826
小計	△318,140	△443,641
利息の受取額	3,832	4,877
利息の支払額	△9,278	△11,451
法人所得税の支払額	-	△5,345
営業活動による正味キャッシュ・フロー	△323,586	△455,561
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金預入支出	△5,524	△73,211
定期預金払戻収入	-	219,500
有形固定資産取得支出	△227,479	△1,366
有形固定資産売却収入	23	-
関連会社への投資による支出	△741,951	-
差入保証金・敷金の増加による支出	-	△435
差入保証金・敷金の減少による収入	5,420	-
貸付金の回収による収入	2,266	3,332
投資活動による正味キャッシュ・フロー	△967,244	147,818
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金増減額	△19,730	△5,165
長期借入金の返済による支出	△7,400	△8,342
長期借入による収入	232,320	74,144
新株予約権の行使による株式の発行による収入	28,200	1,058
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△72,755
財務活動による正味キャッシュ・フロー	233,389	△11,060
現金及び現金同等物に係る換算差額	△6,170	△70,501
現金及び現金同等物の増減額	△1,063,611	△389,304
現金及び現金同等物の期首残高	4,461,420	3,022,720
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,397,809	2,633,415

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(事業セグメント)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。当社グループは、創薬及び製造販売事業会社を営んでおり、国内においては当社が、海外においては連結子会社が管理しております。したがって、当社グループは、研究開発・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「中国」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。各報告セグメントでは、創薬事業や受託研究などを行っております。

上記のように決定された報告セグメントにおける主要セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	会社名	主要製品
日本	株式会社ジーエヌアイグループ	試薬
中国	北京コンチネント薬業有限公司、上海ジェノミクス有限公司、GNI-EPS (HONG KONG) HOLDINGS LIMITED、GNI-EPS Pharmaceuticals, Inc.、上海ジェノミクステクノロジー有限公司	アイスーリュイ、漢方薬など
米国	GNI USA, Inc.	(注)

(注) 米国において、F351の治験許可 (IND) 申請を行いました。

(2) 報告セグメントの売上収益及び損益

当社グループの報告セグメント情報は以下のとおりです。各報告セグメントの会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同一です。

前第2四半期連結累計期間 (自 2015年1月1日 至 2015年6月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	連結
	日本	中国	米国	合計		
売上収益						
(1) 外部顧客への売上収益	12,542	475,059	-	487,601	-	487,601
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	8,980	-	8,980	△8,980	-
計	12,542	484,040	-	496,582	△8,980	487,601
セグメント損失 (△)	△165,527	△74,829	△2,985	△243,341	1,680	△241,661
					金融収益	15,803
					金融費用	△9,278
					持分法による投資損失	△50,844
					税引前四半期損失	△285,981

(注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。

2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント損失 (△) の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。

3 セグメント損失は、要約四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2016年1月1日 至 2016年6月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額	連結
	日本	中国	米国	合計		
売上収益						
(1) 外部顧客への売上収益	7,343	536,899	-	544,242	-	544,242
(2) セグメント間の内部売上収益又は振替高	-	7,833	-	7,833	△7,833	-
計	7,343	544,733	-	552,076	△7,833	544,242
セグメント損失(△)	△156,499	△54,845	△18,485	△229,831	877	△228,953
					金融収益	10,380
					金融費用	△311,201
					持分法による投資損失	△40,452
					税引前四半期損失	△570,227

- (注) 1 セグメント間の内部売上収益又は振替高は、独立企業間価格に基づいております。
- 2 売上収益の調整額は、セグメント間の内部売上収益であります。また、セグメント損失(△)の調整額は、セグメント間の内部利益消去額であります。
- 3 セグメント損失は、要約四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。